

平成26年8月22日

鹿沼市体育協会加盟団体長 様

鹿沼市体育協会
会長 中島 要三
(公印省略)

平成26年度競技力向上研修会の開催について

日ごろより、本協会の諸事業につきまして格別のご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。

別紙

さて、標記の件について裏面のとおりの通知がありましたので、ご案内いたします。

つきましては、貴団体関係者に周知いただくとともに参加者をとりまとめのうえ、別紙様式により鹿沼市体育協会事務局までお申込ください。FAXでも構いません。

なお、申込の締め切りは、10月10日(金)とさせていただきます。

鹿沼市体育協会事務局
鹿沼市教育委員会事務局スポーツ振興課内

TEL 0289-63-2255

FAX 0289-72-1302

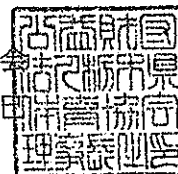


栃体協第204号

平成26年8月14日

鹿沼市体育協会 会長 様

公益財団法人栃木県体育協会
理事長 小林 一



平成26年度 競技力向上研修会の開催について (御案内)

本県スポーツの振興につきましては、日ごろからひとかたならぬ御理解と御協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、このたび、みだしの研修会を別紙要項により開催することになりました。

つきましては、御多忙の折、大変恐縮ではございますが、出席を御希望の際は、下記申込先まで別紙申込書を御提出くださいますようお願いいたします。

記

- 1 申込締切日 平成26年10月24日(金) 必着
別紙参加者申込書を下記連絡先までFAXにて御回答ください。
- 2 その他 ・移動に関わる経費は自己負担となっておりますので御了承願います。
※ 参加者における当日の行事保険については当方で加入いたします。
※ 会場の収容客数に限りがあり、席の確保が十分に出来ない場合があることを御了承ください。

公益財団法人栃木県体育協会
競技スポーツ課 担当 佐々木
TEL 028-622-7677
FAX 028-625-6428

平成26年度 競技力向上研修会 実施要項

1 目的 競技団体の指導者等が一堂に会し、発掘・育成・強化方策について情報交換を行い、国内における最先端の指導法や医科学知識等を習得することで、競技力の向上を図る。

2 主催 公益財団法人栃木県体育協会・栃木県教育委員会
栃木県市町村教育委員会連合会・栃木県高等学校体育連盟・実施競技団体

3 協賛 久光製薬株式会社

4 期日 平成26年11月21日(金) 13:30～

受付	13:00	～	13:30
開会	13:30	～	13:40
研修Ⅰ	13:40	～	15:00
質疑応答	15:00	～	15:10
休憩	15:10	～	15:20
研修Ⅱ	15:20	～	16:10
質疑応答	16:10	～	16:20
閉会	16:20		

5 会場 栃木県総合教育センター(大講義室)
〒320-0002 宇都宮市瓦谷町1070 Tel 028-665-7200

6 対象者 競技団体の理事長及び強化部長
加盟団体から推薦された各年代の指導者
加盟団体から推薦された競技者

*定員400名

7 内容 研修Ⅰ 《講演》『学ぶことをやめたら教えることをやめなければならない』
講師 植田 辰哉 氏
(日本バレーボール協会 日本代表強化育成シニアディレクター)

研修Ⅱ 《講演》『スポーツ傷害の治療・リハビリテーションの時代から予防へ』
講師 村上 憲治 氏
(仙台大学体育学部体育学科 准教授)

平成26年度 競技力向上研修会の開催

平成26年11月21日(金) 13:30~16:20 栃木県総合教育センターにて、公益財団法人栃木県体育協会主催の競技力向上研修会を開催いたします。今回は、日本バレーボール協会 日本代表強化育成シニアディレクター 植田 辰哉 氏と、仙台大学体育学部体育学科 准教授 村上 憲治 氏に講演をしていただくことになりました。貴重なお話しが聞けることと思いますので、多くの皆様の参加をお待ちしております。

《略 歴》

植田 辰哉(うえた たつや)

日本バレーボール協会 日本代表強化育成シニアディレクター

1964年7月25日、香川県出身。

大阪商業大学卒業後、新日本製鐵(現、堺ブレイザーズ)に入社。

日本リーグ(現、Vリーグ)ではセンタープレイヤーとして、新人賞、ベスト6(5年連続)、ブロック賞、スパイク賞など数々のタイトルを獲得。日本代表としても活躍し、1992年のバルセロナオリンピックには主将として出場。6位入賞に大きく貢献した。

現役引退後は、新日鐵、日本代表ジュニアチームの監督を歴任し、2005年に日本代表監督に就任。

オリンピック出場を果たすため、非常に厳しい指導を続け、低迷を続けていた日本代表をフィジカル面、メンタル面ともに鍛え上げ、戦う集団へと変えていった。

2008年、北京オリンピック世界最終予選を見事に突破。自身が出場したバルセロナ以来、16年ぶりに日本代表をオリンピックへと導いた。

また熱血指導の一方では、目標を達成するための緻密な計画も立てるなど、卓越した組織マネジメント力を持つ。

植田氏が熱く語る『戦う集団の極意』を是非聴いていただきたい。



研修Ⅰ 『 学ぶことをやめたら教えることをやめなければならない 』 13:40~15:10

講 師 植田 辰哉 氏 (日本バレーボール協会 日本代表強化育成シニアディレクター)

研修Ⅱ 『 スポーツ傷害の治療・リハビリテーションの時代から予防へ 』 15:20~16:20

講 師 村上 憲治 氏 (仙台大学体育学部体育学科 准教授)

《略 歴》

村上 憲治(むらかみ けんじ)

日本体育協会公認アスレティックトレーナー

理学療法士、はり師・きゅう師

学位:博士(スポーツ医学)

明治鍼灸短期大学(現:明治国際医療大学)卒業

国際医療福祉大学保健医療学部理学療法学科卒業

国際医療福祉大学医療福祉学科研究科保健医療学専攻理学療法分野修了

筑波大学大学院人間総合科学研究科博士課程スポーツ医学専攻スポーツ医科学基礎論分野修了

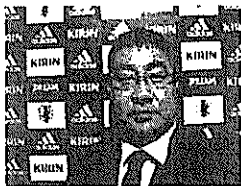
(公財)日本体育協会公認アスレティックトレーナー栃木県連絡協議会会長

(公社)栃木県サッカー協会医事委員会メディカルサポート部部长

(一社)栃木県理学療法士会社会局メディカルサポート部部长

栃木SCやヴェルフェたかはら那須、国体成年男子栃木選抜チーム・少年栃木選抜チームをはじめとしたサッカーチームや、陸上競技、野球、ソフトボール、スケートといったさまざまなスポーツにおいて、中学生から社会人まで幅広い年代でアスレティックトレーナーとして選手のサポートをされてきた村上氏。

日本整形外科スポーツ医学会や日本バイオメカニクス学会等、数々の学会に所属しており、現在は仙台大学体育学部体育学科准教授としてもご活躍されている村上氏による、『競技力向上のための医科学的サポート術』にご期待ください。



平成26年度競技力向上研修会 参加者申込書(FAX送信)

締切日:平成26年10月24日(金)必着

団 体 名 _____

記 載 責 任 者 _____

連 絡 先 電 話 番 号 _____ () _____

(公財)栃木県体育協会
 競技スポーツ課 担当 佐々木
 TEL 028-622-7677
 FAX 028-625-6428

※参加申込者が5名を超える場合は、用紙をコピーしてお使いください。

1	参加者氏名	勤務先名
	〒 - 自宅住所 Tel - -	〒 - 勤務先住所 Tel - -
2	参加者氏名	勤務先名
	〒 - 自宅住所 Tel - -	〒 - 勤務先住所 Tel - -
3	参加者氏名	勤務先名
	〒 - 自宅住所 Tel - -	〒 - 勤務先住所 Tel - -
4	参加者氏名	勤務先名
	〒 - 自宅住所 Tel - -	〒 - 勤務先住所 Tel - -
5	参加者氏名	勤務先名
	〒 - 自宅住所 Tel - -	〒 - 勤務先住所 Tel - -